

4) 機材

a. 使用機材

(1) 機材一覧及びメーカー

受信機
副受信機
中継器
感知器

利 製造

(2) 機材の識別方法

- ・機材および包装の

(3) 保管方法

- ・受信機、中継器は、
を置いて保管し、

い資材置き場の小屋内にまくら木

b. 機材の検査

- (1) 機材の搬入ごとに、
- (2) その後、監理者に

認、外観確認、数量確認)を行う。
ける。

5) 施工要領

a. 火災報知機の取付け方

(1) 受信機の取付け

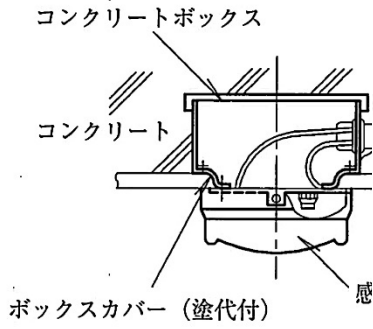
- ・受信機は、床や壁の
周囲には、適切な
- ・受信機は、直接日
影響を受けない場
- ・操作部の高さは、

、これに受信機を取付ける。また、
は湿度の高くない場所、衝撃などの
しない場所であることを確認する。
ように取付ける。

(2) 熱感知器の取付け

- ・感知器の下端は、
- ・感知器は、換気等
- ・感知器の取付けは
- ・感知器の取付け個

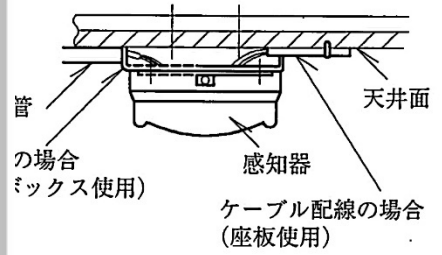
寸ける。
い。
た表に基づき設置する。



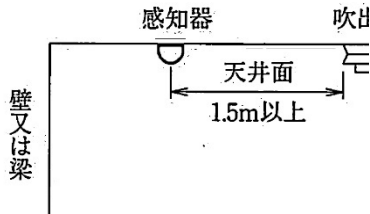
埋込配管の場合

警報用ケーブル等

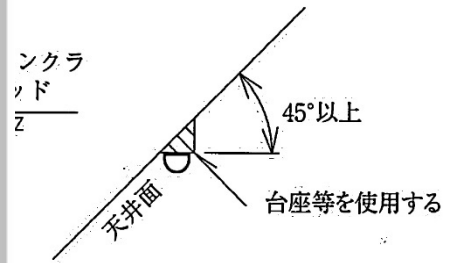
軽量チャンネル等補強



は露出配管の場合



取付位置要領図



5度以上傾斜の場合

1個当り	
取付面（天井面の高さ）	
4m 未満	主要構造部を造とした防火はその部分 その他の構造象物又はその
4m 以上 8m 未満	主要構造部を造とした防火はその部分 その他の構造象物又はその

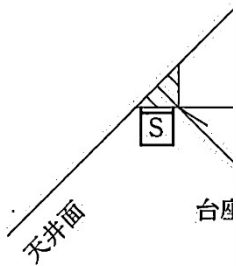
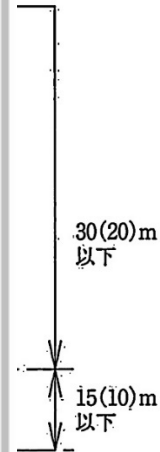
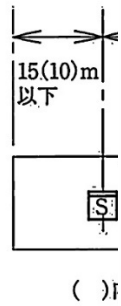
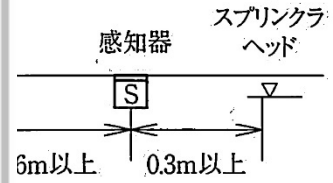
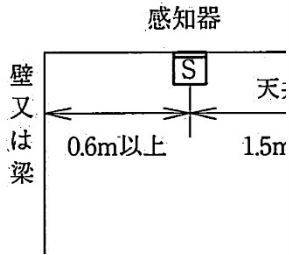
感知器の種別			
定温式			
特種	1種	2種	
70	60	20	
40	30	15	
35	30	-	
25	15	-	

(3) 煙感知器の取付け

- ・ 感知器は、換気等
- ・ 感知器の下端は、
- ・ 感知器は、部屋の
- ・ 感知器の取付け個

設備がある場合、排気口側に取付け

た表に基づき設置する。



知面積 [単位: m ²]			
	煙感知器の種別		
	1種	2種	3種
	150	50	
	75	-	
	75	-	

取付天井面が 45 度以上傾斜の場合

煙感知器の取付け

(4) 総合調整

- ・機器取付けが完了後、別添 1 の品質管理チェックシートによる試験を行い、各機器の動作状況を総合的に調整及び確認する。

b . 耐震支持

(1) 設置条件

- ・耐震安全性の分類
- ・水平震度 最上
2 階
1 階

(2) 支持材

- ・材料は、「建築設備」により算出して、施工図に記載する。
- ・自立形の盤は、床下等、必要がある場合、頂部補強用壁つなぎ材を検討し、施工図に記載する。

6) 品質管理

a . 管理体制

品質管理責任者	監理:
品質確認者	主任:

電気工事(株)

b . 管理方法

- (1) 監理技術者は、事前確認を行う。
- (2) 作業前に、主任技術者が確認する。製品に添付されている施工要領がある場合は、併せて確認する。
- (3) 施工中は、作業員に作業要領を説明し、確認する。
- (4) 一工程が終了したら、防火による自動火災警報装置の動作を確認する。
- (5) 上記確認後、監理技術者が確認する。

「品質管理チェックシート」(別添 1 : 消費式第 11)) により確認する。
「品質管理チェックシート」で再確認する。

7) 工事写真

a . 撮影者

- (1) 撮影は、工事担当者が行う。

b . 撮影箇所

- (1) 機材搬入時は、機材の搬入状況を確認する。
- (2) 一連の作業工程が完了した後は、作業完了状況を確認する。
- (3) 撮影する箇所は、「施工要領」(最新版)による(別添 2)。

受注者が作成した資料を添付する場合は、営繕工事写真撮影要領を満していることを記載する、

見

本